

2011年5月27日

ほしざらサロン 2011年4月議事録

文責：角田 佳昭

日 時： 2011年4月29日（土）17:00～22:00

場 所： 宗像ユリックス 第3会議室

参加者： 坂本、角、柴田、坪井、藤本（巳）、藤本（由）、松井、與古光

（50音順、敬称略）

職 員： 加藤、小野田、鳥越、角田

見学者： 田頭さん、山本さん

（計14名）

1 新しい望遠鏡入れ製作

3月末に、ユリックスが、新たに Vixen の 8 cm 屈折望遠鏡（赤道儀式）を 2 台を購入してくれました。4月9日（土）のミニ合宿の際に組み立て・動作チェックを行い、4月23日（土）のウォッチングで実際に使用しました。

そして、今回のサロン開始前に、新しい望遠鏡のケースの製作を行いました。

スタッフのみんなで発泡スチロールや段ボールを切り貼りし、これまでのものよりも、運搬時に望遠鏡や赤道儀がズレないケースが完成しました。

「新しい望遠鏡のファインダーがドット・ファインダーなので、恒星を導入しづらい」「望遠鏡の数が増えたので、バッテリーの数が足りない」という意見がありました。今後、ユリックスに要望し、備品を揃えてもらいたいと考えています。

2 4月23日（土）のほしざらウォッチングについて

4月23日（土）のウォッチングは、リーダー：藤本（由）さん、サブリーダー：藤本（巳）さん、プラネ解説：岡村さんでした。来場者はプラネタリウム93名、屋外観望会150名、スタンプカード134枚でした。

ウォッチング終了後に反省を行いましたが、あらためて4月23日のウォッチングについて、反省点がないか伺いました。

23日のウォッチングは、今年度最初のウォッチングということもあり、たくさんの来場者がいらっしゃいました。プラネタリウムでの解説は満席となり、数名の方が入ることができませんでした。

そのため、解説が始まった後、プラネタリウムの入り口付近でどうすればいいのか分からぬ方がいらっしゃったようなので、何らかの案内があった方がよいのではないかという意見がありました。

3 5月14日（土）のほしざらウォッチングについて

5月14日（土）のウォッチングは、プラネ解説を篠原さんが行うことだけが決定していました。

リーダー、サブリーダーを募集したところ、坂本さんから、原口さんからの伝言として、原口さんがサブリーダーをやってもいいということを伝えてくださいました。そこで、リーダー：坂本さん、サブリーダー：原口さんで行うことになりました。

今後、リーダー・サブリーダーと職員の加藤と日程を合わせて、打ち合わせを行うことになりました。

4 6月18日（土）のほしざらウォッチングについて

6月18日（土）のウォッチングは、これまでと趣向を変え、太陽の観察を行うことが決まっています。そのため、通常のウォッチングよりも開始時刻が2時間30分ほど早くなっています。

このウォッチングのリーダーやサブリーダー、プラネ解説はまだ決まっていませんでした。

サロンの中で募集したところ、リーダーを角さんが引き受けてくださることになりました。

5 今年度のほしざら合宿について

今年度のほしざら合宿は、9月23～25日の日程で行うことは決定していますが、合宿場所はまだ決まっていませんでした。

角さんがまとめてくださった、合宿場所についての資料を見ながら、合宿の場所を検討していました。

5.1 たちばな天文台について

宮崎県のたちばな天文台について、與古光さんが実際に立ち寄ったということなので、天文台の状況を説明していただきました。

たちばな天文台のすぐ近くに、噴火を続けている新燃岳があるということで、風向きや噴火の状況によっては望遠鏡が使えない可能性もあるということでした。交通の便としては、最寄りの高原ICから車で10分ほど(4km程度)ということです。天文台に隣接した場所に、ログハウスや温泉施設があり、近くには軽食(タコ焼きや蜂楽饅頭)を販売している店やコンビニもあるということでした。

また、近隣に仕出し屋さんがあり、食事の手配はできるようだということです。

しかし、なにより遠方であることや、夜間の望遠鏡の使用やブルーシートを広げる場所などが確保しづらいのではないかという意見がありました。

5.2 星の文化館

星の文化館は、宿泊料金が高めであることや、山間に位置することから霧や雲の影響を受けやすいのではないかという意見がありました。

観察場所としては、上の方に広場があるため、望遠鏡の使用やブルーシートを広げたりすることはできるようです。

5.3 南阿蘇ルナ天文台

南阿蘇村にあるルナ天文台は、九州最大の公開望遠鏡(85cm)があることが魅力ではあるが、宿泊料金が高い(8,500円～)、ブルーシートを広げられる場所がないかもしれないという意見がありました。

5.4 さかもと八竜天文台

アクセスが悪く(高速道路を降りてからの距離が長い)、また八代湾に面しているため、八代市などの光害の影響が大きいのではないかという意見がありました。

5.5 清和高原天文台

高速道路を降りてからの距離は長いものの、これまでに利用している実績があることから、使い勝手が分かっている、望遠鏡出入りに便利である、ブルーシートを広げるのに最適な適度な傾斜の斜面がある、夜空が暗いというメ

リットがあり、これまで利用してきました。

5.6 結論

これまでの利用経験から、清和高原天文台が様々な点でバランスがとれており、今年度も清和高原天文台で行うことになりました。

他の施設は、今後有志で見学に行くなどして、引き続き来年度以降に向け検討を続けることになりました。

6 8月6日（土）望遠鏡工作教室, 9月3日（土）望遠鏡活用講座

6.1 望遠鏡工作教室

今年度も夏休み工作教室として「望遠鏡工作教室」を実施します。例年、多くの申込者があり、昨年も定員の倍くらいの申し込みがありました。今年は8月6・7日にユリックスで「チルドレンズ・ミュージアム」が実施されるので、そのイベントの1つとして実施する予定です。

イベントの告知は、宗像市内の4～6年生に対して、学校でチラシを配布していただく予定です。

6.2 望遠鏡活用講座

昨年度も好評だった「望遠鏡活用講座」は、今年も、持ってきた望遠鏡で実際に天体を観察してもらいたいという意図から、梅雨時期ではなく9月3日（土）に行います。

昨年度の反省点や今年度の年間計画作成時に話があったように、望遠鏡を持っている方に限定して実施する予定です。

望遠鏡をもっていない方向けの講座は、年間計画作成時には、Vixen 屈折望遠鏡と同じ形式の望遠鏡が複数台ないと実施が難しいという話になっていました。年度末に Vixen 屈折望遠鏡が2台増えたため、実施が可能になりましたが、今のところ、年間計画での実施予定はありません。

7 クリスマスについて

昨年度は、プラネタリウムリニューアル工事の影響で、クリスマスの番組制作としての活動はありませんでした。それに変わり、これまでのクリスマスの活動の発表会という形で、活動写真や製作した投影機・装置の展示を行ったほか、2冊の絵本を紙芝居して、読み聞かせを行いました。

予定では1回ずつの読み聞かせの予定でしたが、当日は急遽2巡目の読み聞かせを実施しました。

今年は、例年通りクリスマスの番組制作ができるようになりました。今年度はどうするのかについて、スタッフのみなさんの意見を聞いてみました。

番組制作の経験がない、新しいスタッフも多かったのですが、次のような意見がありました。

- クリスマス番組制作の経験がないので、どのように進めていくのか分からぬが、ぜひ、番組制作をやってみたい。
- シナリオを作る際に、担当するスタッフの負担が大きいのではないか。みんなの意見をまとめていくのは大変だと思う。なんとか、負担を減らせられるといいのだが。
- いつも、装置の提案があって、シナリオの話が進んでいた。どんな装置を作るのか、アイデアがあるといい。
- 早い年は、4月くらいから装置の工作をやっていた。始めるなら、早い方が良いと思う。
- プラネタリウムの機器が変わったことによって、作り方は変わるのか？
→今までと同じような演出は可能です（角田）。

このような意見がありました。

引き続き、次回のサロンでも話し合っていくことになりました。

8 今後の予定や連絡

8.1 5月14日（土）ライブお茶会

メーリングリストでも案内がありましたが、例年行っているライヴ班の反省会である『お茶会』を、5月14日（土）に行うことになりました。詳しくは、メーリングリストで送られたメールをご覧ください。（小野田）

8.2 5月21日（土）MYP 総会

5月21日（土）にMYP 総会が行われます。正会員の方は議決権があるので、出欠の表明と、欠席の場合は委任状などを送付してください。出欠や委任状の有無は、総会の成立に影響しますので、正会員の方はよろしくお願ひします。出欠や委任状は電子メールでも受け付けられます。

また、スタッフの皆さんには年度更新の書類をお渡し（または郵送）しています。提出がまだの方は、提出・送付をお願いします。（加藤）

8.3 保険について

MYP で契約している活動保険についてですが、これまでメーリングリストやサロンで保険が適応される条件などを確認しておきたいという意見がありました。現在、保険屋さんと細部を確認しているところです。次回のサロンでお知らせできると思います。（加藤）

次回ほしざらサロンは5月28日（土）です。